

取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地の形成の促進
 計画作成主体 : 安芸太田地域農業再生協議会
 対象品目 : こまつな、ほうれんそう
 (産地面積 : 1.64ha)
 主な取組主体 : 広島市農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス資材の導入、ポンプ・防除機等のリース導入)

ポイント

新規就農者のパイプハウスを整備し栽培面積を拡大するとともに、その新規就農者が構成する生産者部会で機械共同利用を推進することにより産地化を図る。

地区の概要

広島県
安芸太田町



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 0.62ha
販売額 : 23,624千円

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 1.64ha
販売額 : 57,139千円



推進体制

地域の関係者 (安芸太田町・広島市農業協同組合・広島県) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 近隣市と連携した新規就農者研修制度により新規就農者を育成・確保している。
- JA広島市がパイプハウスをリースし新規就農者を支援している。
- 新規就農者が中心となった生産者部会を設立し、技術研鑽等に取り組んでいる。

事業効果

○新規就農を進め、産地面積が拡大することにより、販売額が向上する。

～施設野菜の販売額～

